

(全地方整備局・北海道開発局同時公表)

平成 24 年 7 月 31 日 (火)  
水管理・国土保全局河川環境課

## 平成 23 年全国一級河川の水質現況の公表について

国土交通省では、昭和 33 年から一級河川（直轄管理区間）において水質調査を実施しています。この度、平成 23 年の全国一級河川 109 水系における水質状況<sup>(※1)</sup>をとりまとめましたのでお知らせします。

### <環境基準の達成状況>

一級河川（湖沼及び海域を含む）で、有機汚濁の代表的な指標である BOD 値又は COD 値が環境基準を満足した調査地点の割合は 91%で、3 年連続で過去最高となった。

### <河川ランキング>

- ・水質改善状況に関するランキングで、過去 10 年間に BOD 値が大幅に改善されている河川は、大和川（大阪、奈良）、綾瀬川（埼玉、東京）及び鶴見川（神奈川）であった。
- ・平均水質（BOD 値）ランキングで、最も水質が良好な河川は、下記 12 河川であった。  
尻別川（北海道）、後志利別川（北海道）、鷗川（北海道）、沙流川（北海道）、荒川（福島）、黒部川（富山）、安倍川（静岡）、宮川（三重）、北川（福井）、高津川（島根）、川辺川（熊本）、五ヶ瀬川（宮崎）

### <泳ぎたいと思うきれいな川>

従来の BOD などの指標と異なり、ゴミの量や水のおいなど、人と河川のふれあいに関する新しい指標を用いて、住民との協働により、河川に近づきやすい地点で調査を実施した。その結果、調査地点の 22%（59 地点/270 地点）が「泳ぎたいと思うきれいな川」<sup>(※2)</sup>と評価された。

(※1)本資料に掲載している地点以外にも、事業の影響予測や評価のために国土交通省において水質調査を実施している箇所もある。なお、それらの調査結果については、各地方整備局のHP等で公表している。

(※2)あくまでも水質に関する指標（ゴミの量、透視度、川底の感触、水のおい、糞便性大腸菌群数）により評価した結果であり、流れの状態や、川岸・川底の形状などの安全性については考慮していない。また、水浴場水質判定基準（環境省）における油膜の有無やCOD等の評価項目、その他の有害物質等による評価は行っていない。

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課

課長補佐 三宅 洋（内線 35-443）

水環境管理係長 金井 信宏（内線 35-482）

TEL 03-5253-8111（代表）、03-5253-8447（直通）

FAX 03-5253-1603

<添付資料一覧>

[http://www.mlit.go.jp/river/toukei\\_chousa/kankyo/kankyousuisitu/h240731/s01.pdf](http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyousuisitu/h240731/s01.pdf)

1. 生活環境の保全に関する環境基準の満足状況・・・・・・・・ P. 1
2. 河川ランキング・・・・・・・・ P. 2
  - (1) 過去 10 年間の水質改善状況によるランキング
  - (2) 平成 23 年の平均水質（BOD 値）によるランキング
3. 新しい水質指標による調査結果の概要・・・・・・・・ P. 4  
泳ぎたいと思うきれいな川
4. 人の健康の保護に関する環境基準・・・・・・・・ P. 7
5. ダイオキシン類・・・・・・・・ P. 8
6. 水質事故等の状況・・・・・・・・ P. 9

※詳細については、下記を参照

○平成 23 年全国一級河川の水質現況

[http://www.mlit.go.jp/river/toukei\\_chousa/kankyo/kankyousuisitu/h240731/s02.pdf](http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyousuisitu/h240731/s02.pdf)